

会 議 録

会議の名称	第1回茨木市提案公募型公益活動支援事業評価委員会
開催日時	令和4年4月7日(木) (午前・午後) 1時00分 開会 (午前・午後) 4時30分 閉会
開催場所	茨木市立男女共生センター ローズ WAM 501・502号室
議長	山本 博史 氏 (追手門学院大学 地域創造学部 地域創造学科 教授)
出席者	【評価委員】 山本博史氏(学識経験者)、河合将生氏(NPO関係者)、高田和子氏(地域活動関係者)、板倉幸司氏(公募市民) (4人) 【事務局】 中井市民文化部長、高崎市民協働推進課長、山本市民協働推進課市民活動係長、松井市民協働推進課職員 (4人) 【関連課及び担当課】 農林課、環境政策課、政策企画課、人権・男女共生課 (4課)
開催形態	原則公開(傍聴者1人)
議題(案件)	(1) 委員委嘱 (2) 諮問 (3) 副委員長選出 (4) 会議の公開・非公開の決定、傍聴要領、会議の概要説明 (5) 提案者によるプレゼンテーション及び質疑応答
配布資料	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第1回茨木市提案公募型公益活動支援事業評価委員会次第 ・ 令和4年度 チャレンジいばらき補助金申請事業一覧 ・ 応募関係書類(個人情報を含むため省略)

議 事 の 経 過	
発 言 者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
事務局	開会及び部長あいさつ 今年度からの新任委員の委嘱 山本委員長へ諮問書を手交
山本委員長	委員長あいさつ 副委員長の選出について ⇒本日欠席だが、学識経験者である藤原委員が適任ではとの声があり、全員一致で藤原委員に決定
事務局	公開・非公開の決定について（原則公開） 会議録について（要点筆記とする） 本日の会議の概要説明 傍聴者入室許可（傍聴者入室） ----- プレゼンテーション開始 -----
団体	【自由テーマ型】 茨木こどもマルシェ シェアリンク茨木
関連課	【関連課 意見】 【質疑応答】
板倉委員	・5/22（日）の苗植えイベント以外の計画は。 →夏野菜の収穫は参加者の都合の良い時に来てもらう。また、11月にサツマイモの収穫を予定している。
河合委員	・広報の方法は主に SNS かと思うが、ターゲットに届けるためにどういった工夫をしているか。 →Facebook での広報。なるべく具体的に、ワクワクするような投稿を意識している。 ・ターゲットとしては「子どもとその保護者」の中でも、どんな人に来てほしいと考えているか。 →団体自体が当初発達障害の子や、放課後（児童）デイ等に通う子を持つ親を対象にした、子育てに悩む親をメインの対象にしていたので、そんな方たちが悩みを相談して元気になっていく場所でもある。 ・プロセスは「土づくりから販売」となっているが、それぞれのプロセスにはどんな協力者がいるか。 →講座の際には、団体と関わりのあるファイナンシャルプランナー、茨木市北部で畑づくりに関わる人、ライオンズ、JC、市内店舗等から聞いた情報を参考にする。

<p>団体</p>	<p>【自由テーマ型】 地産地消推進型マルシェ「いばらきマルシェ超（スーパー）」 茨木コモンズ</p>
<p>関連課</p> <p>山本委員長</p> <p>板倉委員</p> <p>河合委員</p>	<p>【関連課 意見】</p> <p>【質疑応答】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ポスティングはどの地域にする予定か。 →開催地であるイバラボ広場周辺の世帯でと検討している。 ・地産地消を意識してもらうための工夫は →新鮮な野菜はおいしい、ということを経験してもらうことで、生産者の想いや無農薬への興味につなげてもらうきっかけ作りにしたい。 ・イベントの6月に1回とあるが、開催は1回だけか。 →年間を通して小さいマルシェを行うが、大きいイベントとして、6月に1回、秋に1回を予定している。 ・予算書にあるのは6月の1回分か。 →その通りである。
<p>団体</p> <p>関連課</p> <p>高田委員</p> <p>河合委員</p> <p>山本委員長</p> <p>団体</p>	<p>【自由テーマ型】 茨木市「生物多様性ぬりえ BOOK」 人を自然に近づける川いい会</p> <p>【関連課 意見】</p> <p>【質疑応答】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもだけでなく大人も楽しめる塗り絵にすると、楽しめる層が広がると思う。 ・ページ数を減らして部数を増やすなどは考えているか？ →もともと20ページでも検討していたが、紹介できる生物が減ってしまうので、これ以上減らす予定はない。 ・今後、塗り絵の続編の予定はあるか。 →会員の中で話し合ってみる。 ・1000部無料配布の方法 →冊子完成後、生物多様性をテーマにした講座を行うのでその際に配布を予定。 その他、環境政策課、大阪府及び、会員の手からそれぞれの知人への配布を予定している。 ・塗り絵ページと色見本や説明のページは同じ質の紙で大丈夫か。 →色鉛筆や印刷が乗りやすい紙を予定しているので、問題ない。 <p>【自由テーマ型】 小学生はじめてのプラモデルづくり事業</p>

	いばらきキッズプラモクラブ
関連課	【関連課 意見】
河合委員	【質疑応答】 ・先駆的な取り組みだと思うが、興味を持つ子に偏りが生まれる可能性が懸念される。どう考えているか。 →「つくりたい」という気持ちは、男女関係ないと認識している。
山本委員長	・参加費 1,000 円となっているが、実際にかかる材料費については、770 円、ニッパ 300 円という認識でよいか。 →間違いない。 ・オンライン参加者に向けては、必要な物品を事前に周知するのか。 →初めに工具の使い方を説明する予定。
板倉委員	・印刷製本費の予算が少額だが、大丈夫か。 →安価での印刷が可能であると見込んでいるほか、広告に関しては、地域を絞ってインスタグラムの有料広告を出せればと考えている。
団体	【自由テーマ型】 しばけんのイベント シリーズ うちラボ
関連課	【関連課 意見】
山本委員長	【質疑応答】 ・構成員のなかで大学生の人数はどれくらいか。 →自分以外全員大学生。コアメンバーが 15 名。 ・事業の中身が不明。どのような予定を立てているのか。 →現時点では夏祭りと年始のもちつき大会、防災キャンプを予定。広報については、芝生広場（IBALAB@広場）への掲示のほか、SNS の活用を予定。
板倉委員	・目的と、そのための費用の出し方がわかりづらい。税金を使っている以上、計画的に行ってほしい。 →大学生と共に半年先、1 年先の予定を立てることが難しい。予算がどうしても見えないため、このような申請の仕方になっている。
河合委員	・過去に補助金は受けたことがあるか。 →昼のジャズコンサートについて 3 年間、文化庁の補助金、市の地域魅力アップイベントに対する補助金等。 ・学生との活動での申請経験 →ない。 ・日々企画会議を行うなどしていれば、学生による計画も可能かと思う。話し合い自体も一つの活動とするのも良いかと思う。 →今 1 番大変なのが企画作りなので、そこに補助がもらえればと思い申請した。 ・申請に当たっては、活動についてもう一段具体化が必要かと思う。

<p>団体</p>	<p>【自由テーマ型】 いばらき学生マルシェ 茨木学生生活動交流会</p>
<p>関連課</p> <p>山本委員長</p> <p>板倉委員</p> <p>山本委員長</p>	<p>【関連課 意見】</p> <p>【質疑応答】</p> <p>・昨年実施の「こどいち」と同時開催だったが、今回は別開催か。 →そのとおりである。</p> <p>・メンバー構成は →中心となるメンバーが10人、茨高生のボランティア5名で考えている。その他には、5月に運営メンバーを募集し直前にもスタッフ募集を予定している。</p> <p>・人件費の支払いは当日の分のみか。 →そのとおりである。</p> <p>・IBALAB@広場の上段、下段どちらも使うとなると、かなりスタッフの数が必要になると思う。 →初回の前は茨高生だけだったが、今回は他校の生徒にも声を掛けたい。</p> <p>・高校生が大学生と活動しやすくするための工夫などがあれば。 →「スラッグ」を昨年の開催にあたって使っているが、最近は高校生も使っているとのことなので、積極的に使用する。当日参加者へはチャットで対応予定。</p>
<p>団体</p>	<p>【人権・男女共同参画推進事業】 子どもたちと考える「戦争と平和」事業 子どもたちと考える「戦争と平和」 in 茨木実行委員会</p>
<p>関連課</p> <p>山本委員長</p> <p>板倉委員</p> <p>河合委員</p>	<p>【関連課 意見】</p> <p>【質疑応答】</p> <p>・事業内容は昨年度と比べてどうか。 →武器の作成にあたり育てられていた植物なども紹介できればと考えている。</p> <p>・「子どもたちの主体的参加体験コーナー」とは？ →戦時中の食事などを試食する機会も検討している。</p> <p>・昨年のアンケートにおいて、要望が出ているものも参考にしてはどうか。 →承知した。特攻隊の体験についてのコメントがあったので、団体として別途企画をしている。</p> <p>・アンケートを丁寧にとっており、回収率も高い。初めての人の参加が多い点に、継続すべきということが表れていると思う。 ・報償費の講演費について、現時点で予定している人はいるか。</p>

<p>団体 担当課</p>	<p>→絵を描いた高校生を想定。</p> <p>【人権・男女共同参画推進事業】 多様な性のあり方を楽しく学ぼう！ 特定非営利活動法人ニジュエル</p> <p>【担当課 意見】</p>
<p>山本委員長 河合委員</p>	<p>【質疑応答】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・題材として性的マイノリティを取り上げた理由は。 →当事者が多い団体なので、自分たちから発信したいと考えた。 ・小学生対象の事業はあまりないが、一方で難しさもあるのでは。来場した小学生の保護者に向けてはどういった周知を考えているか。 →家に帰ってから「こんなことをしてきた」と報告してもらうことでの周知を考えている。 ・保護者の方にも正しい理解をしてもらえるよう工夫が必要では。 →ワークシートを配布しようと考えている。
<p>担当課</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・セクシャルマイノリティに関する啓発冊子は、担当課で用意が可能である。
<p>山本委員長 河合委員</p>	<p>【人権・男女共同参画推進事業】 セミナーランチ スワン</p> <p>【担当課 意見】</p> <p>【質疑応答】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・周知方法に市の広報と書かれているが、今まで掲載したことはあるか。 →広報誌には掲載したことはない。（ミニコミ誌である）シティライフに掲載したことがある。広報誌に加え、SNSも合わせて活用したい。 ・参加費と参加人数は。 →1回あたり、1,500円で20～30名を見込んでいる。 ・受益者負担で賄える事業かと思うが、あえて補助金を申請した理由は。 →持続的に活動をするため。専門性を有する講師を呼んだ取り組みを行うため。
<p>団体</p>	<p>【人権・男女共同参画推進事業】 コロナ禍だからこそ、こどもが安心して過ごせる第3の居場所づくり事業 わんだーらんど</p> <p>【担当課 意見】</p>

板倉委員	<p>【質疑応答】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今回も最大利用人数を6名としているが。 <p>→場所の問題、体制の問題がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後の事業の広がりを見ると人数が少なくもったいなく思う。次の展開を踏まえた取り組みを考えては。 <p>→その通りだと思う。現時点で満員になったことはないが、周知にも力を入れたい。</p>
河合委員	<ul style="list-style-type: none"> ・アウトリーチも必要とされる中で、どこまで行おうと考えているか。 <p>→なかなか来れない子どもについては、コミュニティソーシャルワーカーを通じて、いつでも来てねと伝えてもらうようにしている。</p>
山本委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・アートラボの詳細について <p>→絵画、図工教室とまでは言わないが、紙コップでロボットを作るなど、自由な表現をしてもらうことを狙いとしている。</p>
団体	<p>【自由テーマ型事業】</p> <p>無農薬菜園まつり 特定非営利活動法人地球環境再生機構</p>
関連課	<p>【関連課 意見】</p>
板倉委員	<p>【質疑応答】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後の活動場所について <p>→フルーツを植えられる菜園を借りるので、似た取り組みができないか検討中。</p>
山本委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・冊子について、対象者が「知人友人」などと明記されているので、公益性を見出しづらいのではと思う。
事務局	<p>→冊子については、申請時に、会としての活動の記録であれば、補助は厳しいという話をし、今回は対象外経費としている。</p>
山本委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・今までの活動は団体で行っていたとのことだが、補助金を獲得する意義は。 <p>→作成にはお金がかかるので作成した冊子を販売できるイベントとしても、今回の菜園まつりの開催を計画している。予算(100万円以内)としては200部分が限界。評判が良ければ今後、書店で売ることができればと考えている。</p>
板倉委員	<ul style="list-style-type: none"> ・本にしないとだめなのか。 <p>→前々から冊子を作りたいと思っていた。参加者の発見、驚きなどの生の声もまとめたい。</p>
山本委員長	<p>他に意見はないか。以上でプレゼンテーションを終了する。</p> <p>傍聴者退出</p>
山本委員長	<p>事務局から連絡事項はないか。</p>
事務局	<p>次回は、4月8日、午後1時から、ローズWAM501・502号室で開催予定。</p>

山本委員長	以上で、第1回茨木市提案公募型公益活動支援事業評価委員会は閉会とする。
-------	-------------------------------------